

働きづらさに対するわが国初の横断的プロジェクト

日本財団WORK! DIVERSITY (日本財団一億総活躍計画)

(計画年度 2018~2022年)

多様な人々が働き始める社会へ

日本の社会課題

- ・労働力不足 (2030年に644万人) ※民間調査
- ・人口減
- ・社会保障費の膨張

↓

自己負担増 増税

↓

国の対策状況

外国人労働・女性活躍・定年延長・ロボット活用の促進

日本財団の考える
新たな方法

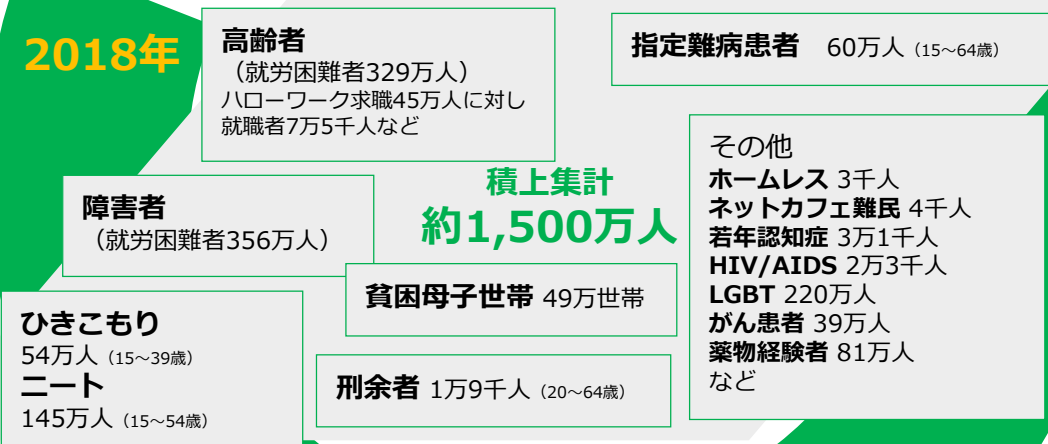
※年間20万人を想定

QOL (生活の質) ↑
労働力 ↑
社会保障費 ↓
(生活扶助・介護度・医療費)

働きづらさを
抱える
多様な人々

推計潜在労働力
約600万人
(2018日本財団調査)

2018年



2022年

フォーラム開催

フォーラム開催

フォーラム開催

フォーラム開催

①

ダイバーシティ就労研究プラットフォーム

- 全体構想構築
社会制度化に適した展開モデルの提示 (数パターン)
- 社会保障と財政の関連検討
社会制度化のメリット、動機となる財政根拠の提示
- 海外状況の分析
わが国の制度設計に役立つ海外事例の集約
- 態様別の支援方法マニュアル化
多様な対象別の支援方法について集約

②

WORK! DIVERSITYネットワーク

全国各地の多様な人々への支援活動を行う
各組織をネットワーク化 (約1,200)

③

全国20地域におけるモデル事業実施~検証

渋谷区、札幌市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、大津市、中間市、高知市、倉敷市、大村市ほか
※以上、候補

⑥

社会制度化~支援開始

②④による多様な人々への就労支援が全国各地でスタート

⑤

提言

①~④を通じ社会的メリットと実現性を確保し、社会制度化の検討へ

④

障害者就労支援事業所*のダイバーシティ化研修

*わが国で最も整備された就労支援機関
就労移行支援3,500カ所
就労継続A型4,500カ所
の多様な人々への支援体制構築